



来週も引き続き「個人懇談」を予定しています。

限られた時間ではありますが、園でのお子さんの様子や成長した姿をお伝えするとともに、ご家庭での様子を伺いながら、これからの育ちと一緒に考える時間にしたいと思っています。

幼稚園と家庭は、お子さんの成長を支える大切なパートナーです。気になることがありましたら、どうぞ遠慮なくお話しください。



また、10月30日(金)は、新入園児の入園手続きのため休園日となります。
なお、預かり保育は通常通り実施します。

秋が深まるにつれ、朝晩と日中との寒暖差も大きくなってきます。札幌市内の小学校を中心にインフルエンザによる学級閉鎖や学年閉鎖も広がりがつつあるようです。

登園前のお子さんの体調確認をこれまで以上に丁寧に、発熱や咳、強い倦怠感など、普段と違う様子がある場合は、無理をせず家庭で様子を見ていただきますようお願い申し上げます。

幼稚園でも子ども達の体調の変化に気を配りながら過ごしてまいりますので、ご家庭でも十分な睡眠とバランスの良い食事、衣服の調整など、体調を崩さないようご協力をお願いいたします。



☆☆☆今月は「変身月間」☆☆☆

毎月、教師達の遊び心とアイデアがたっぷり詰まった「ワクワク TIME☆」

これまでも「交通安全月間」「運動月間」、秋を満喫する「芸術と味覚月間」など、子ども達の好奇心を刺激する楽しい企画を繰り広げてきました(笑)

今月のテーマはズバリ「変身月間！」です。

自由遊びの時間を利用して、子ども達は思い思いの変身アイテム作りに夢中です。

キラキラのプレスレットやカチューシャ、素敵な帽子に魔法のスティック、そして勇ましい剣まで！「こんなの作りたい！」

「もっとこうしたいほうがカッコいいかも…」

と、子ども達の想像力はどんどん膨らんでいきます(笑)

そして、手作りアイテムを身につけて、いよいよファッションショーの開幕です☆

気分はすっかり一流モデル(笑)

堂々とポーズを決める子、まるで本物のモデルになりきってランウェイを歩く子…

もちろん会場は、笑顔と拍手でいっぱい！

白ゆりっ子達の個性がキラキラ輝く、とびきり楽しい時間になりました☆

「自分で考えて、自分で作って、自分らしく楽しむ♡」これこそがワクワク TIMEの魅力です。

教師達のちょっとした遊び心から始まった企画が子ども達の創造力を刺激する遊びに…

そんな遊びの中にも、子ども達の育ちがたくさん詰まっています(笑)

背中を見て、心に火がつく！

今年度からホール全面にマットを敷きました。もちろん一番の目的は転倒による怪我を少しでも防ぐこと！白ゆりの教育の特色の一つである「ヨコミネ式」では、走る、跳ぶ、転がるといった基本的な動きはもちろん、逆立ち歩き、ブリッジ、側転、跳び箱など、全身をたっぴりと使った運動遊びに取り組んでいます。

そんな中、最近のホールでとてもよく見かける光景が「逆立ち名人になりたい！」と言って、逆立ち歩きに何度も何度も挑戦する子ども達…特に年中児達の勢いがすごい！朝の自由遊び、帰りの自由遊び…ホールには逆立ち歩きに挑戦する年中児達が集まっています。

逆立ち歩きができるようになるまでに、子ども達が必ずと言っていいほどぶつかる壁…それは「転んだ時の怖さ」です。逆さまになった状態からバランスを崩して倒れる。「頭をぶつけるのではないかな？！」「痛いのではないかな？！」大人でも怖いですね。でも、ホールにマットを敷いたことで、その恐怖心が随分と少なくなりました(笑) そんな安心感が、子ども達の「やってみよう！」を後押ししているように感じます。

けれど、年中児達の心に火を付けた一番のきっかけは、実はマットではありません。“年長児達の存在”なのです！年長児達はこれまでの幼稚園生活の中でたくさんのことに挑戦してきました。最初から何でもできたわけではありません。できなくて悔しい思いも、何度も失敗して「もうやりたくない」と思ったことだって数えきれないほどあります。

それでも諦めずに挑戦する…「昨日できなかったことが今日は少しできた」、一歩だった逆立ち歩きが、二歩になり、三歩になり…気がつけばホールを何歩も進めるように、そして最後に待っている“大きな喜び”

年長児達は、幼稚園生活の積み重ねの中で“努力することの面白さ”を実体験しています。そんな年長児達の背中を見て、「自分もやってみよう！」「年長さんみたいにになりたい！」、大人がどれだけ「頑張りなさい！」と言うよりも、少し先を歩いているお兄さん、お姉さんの姿の方が、子どもの心を動かすのですね(笑)これが白ゆりの「育ち合い」です。

誰かの挑戦する姿が、別の誰かの挑戦する気持ちを生む！

誰かの「できた！」が「自分もやってみよう！」に繋がる！

そして、その子ども達のすぐそばには“教師達”がいます。「さっきより進んだね！」「もう一回やってみよう？」そんな言葉をかけながら、子ども達の“心が動く瞬間”を待ちます。少し怖くなったときにはそっと支え、自信がついてきたら少し手を離す、前から手を引っ張るのではなく、後ろからそっと背中を押す…それが白ゆりの教師達の役割です。

子どもが子どもを育てる！

教師がその育ちを支える！

今日もホールでは、年長児達の背中を追いかけて、年中児達が何度も何度も逆立ち歩きに挑戦しています。

きっと来年は、今の年中児達の姿を見て、また次の子ども達の心に火がつくでしょう(笑)

こうして白ゆりっ子達の「育ち合い」は、毎年少しずつ受け継がれていきます。